



新年度のご挨拶



厭離穢土欣求浄土 (おんりえどごんぐじょうど) 理事長 柿澤善樹

この語句は「厭離穢土」が「この穢れた国土（世界）を厭い離れる」という意味で、「欣求浄土」は「阿弥陀如来の極楽浄土への往生を欣求（切望）する」という意味である。放映中のNHK大河ドラマ「どうする家康」では「汚れた世を浄土にすることを目指せ」と説明していた。徳川家康が合戦時の旗印にしていたものである。武田信玄の「風林火山」に相当する。浄土教（浄土宗と異なる）経典、往生要集巻上第1項第2項の項目名である。

今回の家康像はオロオロし悩んでいる様を描き、歴史家小和田哲男氏は「今までで最も実像に近い」と指摘している。細かい内容は史実と異なるところもあるが、これは物語であるとすべきであろう。YouTubeは様々な内容を配信しているが、NHK大河ドラマに合わせたものも多い。その中の一つに「なるほど歴史ミステリー」というチャンネルがある。古文書を基礎データとして解説している。「どうする家康」出演者もこれをみているようだ。ドラマと解説ものYouTubeをみくらべるのも面白い。また、家康の正妻瀬名は築山殿と言われ「悪女」といわれてきた。大河ドラマ「女城主直虎」では菜々緒が演じていた。それなりに適役だったと思うが、今回は有村架純である。「悪女」として描かないのでないか。

家康が「たぬきおやじ」との評は明治時代になり江戸幕府を批判する為意図的に作り出されたと小和田哲男氏は云っている。それまでは「神君」であった。桶狭間の合戦後岡崎城に入り、駿河に戻ろうとせず、信長と同盟を結んだことを偽装と北条氏真に伝えていたこと。三河一向一揆の和睦、方広寺梵鐘文字。大阪冬の陣和睦後に大阪城の堀を埋めたこと。一向一揆の主体となった浄土真宗を2つに分けた。つまり、石山本願寺石山合戦和睦の際、門主顕如と三男准如に対し長男教如は抗戦を主張した。その後本願寺再興の際、秀吉の命で准如が門主を継いでいたが、家康の時代になり家康は寄進をして長男教如に東本願寺を作らせた。巨大な宗派を二つに分け弱体させた。これを「たぬき」と呼ぶか、謀略家と云うか。それとも今回松山ケンイチ演じる本多正信の策略とするか。家康は「理や筋を通そうとするが、自分に都合の良い解決の仕方があるものだ」と後によく語っていたようである。江戸時代250年以上にわたり大きな戦争がなかった一方、明治維新以降太平洋戦争敗戦まで80年間戦争ばかり続いていたことも史実である。

今回、名古屋近辺ではよく聞く名前が出てくる。鳥居、蜂谷、平岩、酒井、夏目。甲本雅裕演じる夏目宏次は明治の文豪夏目漱石のご先祖様である。伊賀忍者大鼠の本名は神谷権六と云う。これらの苗字は医療従事者でもよく目にする。さしずめ私のご先祖が居たとすれば、後方でむしろ旗を振っていたかもしれない。

《次ページへ続く》

家康の遺訓「人の一生は重荷を負うて遠き道を行くがごとし。急ぐべからず。不自由を常と思えば不足なし。ここに望みおこらば困窮したる時を思い出すべし。堪忍は無事長久の基、いかりは敵と思え。勝つ事ばかり知りて、負くること知らざれば害その身にいたる。おのれを責めて人をせむるな。及ばざるは過ぎたるよりまされり」これも有名である。私が小学生の頃、よく母（つたゑ）に聞かされたものである。今年47回忌を迎える。母は女学校の時に父親に死に別れ、家業は廃業となった。女医を目指していたが当時、女子医専は膨大な学費が掛かる私立しかなく費用の掛からない京都帝大医学部附属看護学校及び産婆養成所へ進み、自宅で助産所を営んでいた。保健婦の免許も取得し三重県第4号の免許状が残っている。10年以上前であるが往還に入所していた方の中に母の女学校時代の同級生で助産婦の方がいた。この方が描いた絵画が今も往還の廊下に3枚ほど掛かっている。現在は母に「子供を取り上げてもらった」という方が入所している。家康の名前を聞くとこの遺訓及び母親を連想するのである。

現在、私の年代方の両親は殆ど亡くなっている。往還開設後しばらくは同級生の親が入所していた。そしてポチポチ私の年代の方が入所する頃が近い。往還職員は「自分の親を入れたいくなる施設」を目指す。私にとって、「自分が入りたくなる施設」「自分が入所しても、職員が快く受け入れてくれる施設」を目指す時がソロソロである。職員を「一層」大切にしないといけない。新年度を迎えるが、ウクライナ・ロシア戦争は後2・3年続くとの意見が多い。新型コロナ感染症はようやく終息のめどがたった。Withコロナ次の段階である。状況を観ながら対応することになる。



『節分レクリエーション』

花菖蒲 小船 純子

2月3日に節分レクリエーションを行いました。今年は鬼が施設全体を回らず各フロア毎での豆まきとなりました。利用者の皆様は「鬼は外、福は内〜！」と新聞紙玉を手に取り元気に赤鬼・青鬼に向かって投げたり、中には元気が良すぎてわざと他の職員にも玉を投げる方がおられたりで笑いながらも無病息災を願いました。その後はみんなで「美味しいね」と言いながらぜんざいを食べて体の中の鬼退治をしました。利用者様の喜ばれている顔を見ながら来年もまたみんなで元気に節分を迎えたいと願いました。



『ひな祭りレクリエーション』

白梅ユニットリーダー 小川省三

3月3日にひな祭りのレクリエーションを開催致しました。思い出話に花を咲かせながら、手作りのスイーツと甘酒をお召し上がり頂きましたが、何度かお代わりをされた方もみえ、大変好評でした。その後、ご家族様に素敵な写真を届けることを願い、職員手作りのお内裏様とお雛様の衣装に着替えて写真撮影を行いました。出来上がりの写真は様々でしたが、どの写真もその方らしい素敵な表情をされていた様に思います。笑い声の多いハレの1日でした。





● 1月 「災害時の対応シュミレーション」

夜勤者として勤務している状況にて、明け方に大きな地震が発生した想定でシュミレーション訓練を行いました。どこを確認し、どう行動したらよいか、具体的なシュミレーションをして、不足している備えや今あるものでどう対応したらよいかを確認しました。



● 2月 「認知症の正しい理解・認知介護」「従事者による虐待」

認知症の知識・理解・認知介護等を確認しました。また、虐待の芽チェックシートを記入したり、質問に書き出すことで現在の自分を振り返り、従事者による虐待をしっかりと理解し、利用者へのケアの確認や見直しする機会を持ちました。



● 3月 「普段からできるレクリエーション」

レクリエーションの目的や種類・実施のポイント・普段からできるレクリエーション・往還にあるレクリエーション用具紹介などを発信して、日頃から少しでも刺激ある施設生活につなげていきたいと思っています。

インターンシップ



四日市農芸高校の生徒さんがインターンシップで往還に来ました。節分レク用の工作を手伝ってくれました。利用者様と触れ合いながらの作業は楽しそうでした。



訪問カット



月に1度『カットイン』の美容師さんたちが往還に来てカットをしてくれます。利用者様には「すっきりしました。ありがとうございます。」と喜んで頂いています。





短歌



往還の宿直職員としてお仕事をさせて頂いております
小柳 昭夫です。少し短歌を勉強しております、
スマホで投稿にも取り組んでいます。



身近な事象で日々の暮らしの中のしみじみとした楽しみを詠み分けています。我流ですが載せさせていただきます。是非皆さんも取り組んでみてください♪

③

祈 生 み こ 我 と
り ま 教 こ た こ
申 れ え に ま し
さ 更 守 生 し え
ん る る き い に
を 人 は
々 の



②

今 咲 も 我 山
年 い う 行 桜
の て 少 く
春 て し 道
も お
く
れ



①

一 ト W 楽
騎 ラ B し
う ウ C み
ち ト 盛 り
の ・ 上 が
時 大 谷 り



③広池 千九郎博士の石碑にある短歌です。

広池 千九郎

1866 - 1938 明治-昭和時代前期の歴史家、教育者。

慶応2年3月29日生まれ。小学校教員をへて、明治28年東京へでて「古事類苑」編集に従事。

40年神宮皇学館教授。



お天気のいい日は往還の桜を見て頂きながら散歩をしています。外の空気を吸って気分をリフレッシュできるといいですね。

東3ユニットの職員がレクリエーションで使用する道具や飾りを毛糸で作りました。ある利用者様がかぎ針で器用に桜の花を作ってくれました♪

